

箱根組ニュース

第307号 2018年 7月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

飯能駅の西、茜台から柏木山に登り、名栗川の吾妻峡で野草天ぷらパーティーを楽しむ。

6月17日(日)、西武池袋駅7時35分発の急行飯能行きに乗車。前日も翌日も雨予報だが、梅雨の晴れ間というか一日雨が降らないという予報。

飯能駅8時24分着。降り立ったのは、太田、星野(幸)、川名夫妻、宗像夫人、神山、奥村、及川、神吉、星野、和田、菊池、岩岳、戸丸の14名。

13名のつもりがバス停に岩岳さんがいてびっくり、戸丸のスマホが修理でラインを再登録したので岩岳さんからのラインが届いていなかったのだ。無事にライン友達の設定も終わって一安心。

8時47分発のユーエイキヤスター行きのバスに乗車。9時3分、茜台バス停で下車。

曇り空だが雨は落ちていない、この後も一日雨には降られなかった。大きな車道の両側は大きな倉庫などが広くゆったりと並んでいる。

少し行くと左側の草地の斜面からヤギの鳴き声が聞こえる。見るとだいぶ大きくなっているが、まだ今年の春産ま

れたと思われる子ヤギ？が二頭鳴きながら近づいてくる。間にフェンスはあるが近くのヨモギなどの草を採ってあげると喜んで食べた。そしてその後も鳴きながら追いかけてくる。すぐに左に曲がりフェンスもそのまま繋がっていたのでどんどん追いかけてくる。時々草をあげながら歩いていると工場敷地の端までついてきた。とても可愛くて離れがたかった。

道は少し傾斜がついて、丘のようになっているところに着着。

9時11分、ここは大河原配水場の入口。すぐ右の配水場広場で体操をする。トイレも横にある。黄色いオトギリソウが沢山咲いている。

9時23分、歩き出す。赤根ヶ峠まで770mとある。左側が林で天ぷらの材料になりそうなものを摘みながらの散歩だ。まずは葛の弦が沢山伸びている。芽は小さな毛が生えていて一見食べられそうもないが実は天ぷらにするととても美味しい。ただしカラッと揚げたほ



うが毛が気にならずに美味しい。

萩の花があちこちに咲き始めている。右側には倉庫などがありフェンスがあるが左側には緑が続いている。尾根の右と左では全く違う景色だ。

9時36分、左側低いところに小さな池が現れる。看板があり、モリアオガエルの生息地とある。木の枝にはカエルの卵の泡の塊がいくつかついていていた。左側には萩の花が続いている。

9時42分、赤根ヶ峠まで330m地点。左側で誰かが山菜の王ともいえるタラの木を発見。すでに旬は過ぎていたがまだ中心部分の柔らかいところは食べられそうなのでいくつか収穫する。今日のメインがきまった。

右側には倉庫などが続くが穏やかなとてもいい尾根道だ。

現在の収支	
繰越入金	33676 円
0 円	
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	32276 円

切手残数	
82 円切手	211 枚
40 円切手	131 枚

少し傾斜の道に木の板の緩やかな階段が付いている。ちよつと上ると右には大きな広い資材置き場が広がる。9時45分、見晴らし台に到着。資材置き

場を見るのは少し興ざめだが昔はいい見晴らしだったのではないかと思う。しかし背後はいい森だ。

9時52分、赤根ヶ峠着。その昔、飯能から青梅に抜ける峠だったとの事。植林地を抜ける。

10時、緑豊かな谷地に出る。小さな沢の周囲には野草も沢山生えている。収穫しながら道を下ってゆく。

10時15分、右側に一軒の家が現れる。右に曲がってゆく。軽トラックが数台追いついて行き突き当りの広場に止まった。どうやら狩猟の人たちで我々の向かう方向と違う左側の山でイノシシやシカを狙うらしい。荷台のケージには猟犬の姿も見える。

我々は右方向の山道に入ってゆく。高ドッケ山(柏木山)の小さな指標がある。

尾根を登ってゆくと、景色が開け、11時15分、柏木山(303m)に到着。

11時25分、下山開始。左側にはゴルフ場のフェンス

次回7月28日(土)→31日(火)南アルプスの北岳(3193m)間ノ岳(3189.3m)です。
レギュラーコース 3泊4日 総歩行14時間半

広河原山荘、肩の小屋、北岳山荘と山小屋3泊です。テント泊希望の方はシュラフ、マットが必要です。(ご相談ください) テント泊も食事、弁当はすべて山小屋です。

○持ち物 サブザック、軽アイゼン、飲料水、非常食、雨具、スパッツ、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは7月20日(金)までに

集合 7月28日(土)

JR 新宿駅 9:02 発 (11 番線)

ホリデー快速ビューやまなし号
(1両目?)

途中駅発

三鷹 9:15 立川 9:31 八王子 9:42

高尾 9:52

甲府着 11:15 (広河原行きバス乗換)

12:05 発 広河原着 13時58分

交通費片道 新宿～甲府 2268 円(4328 円)

甲府～広河原バス 1950 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/>

があるが、これに沿って進む。

11時35分、富士見の丘。曇って見えないがここから富士が望めるらしい。下から一人の方が立派な丸木で作ったものを背負子で担いで登ってきた。この下に住んで知る方でこの山の整備に尽力されていてこの日は自作のベンチを山頂に設置するらしい。背負子も自作とか。

12時10分、茜台自然広場。小休止。横の水場の上の木々にはモリアオガエ

ルの卵の泡がたくさんついている。水の中には小さなオタマジャクシがいくつかいた。車道に出て右に進む。民家の横を左に入り川寄りの道を進む。標識に従って左に入ると名栗川に出る。すぐに飛び石のドレミファ橋だ。川沿いを下ってゆく。この時期に泳いでいる人がいて驚いた。

金峰山下見山行のお誘い（本番は9月の予定）

7月15日（日）奥秩父連峰の盟主**金峰山**（2599m）に下見に行きます。（歩行約4時間）

※バスが予約制なので参加希望者は、必ずお申し込みください。

◎現在参加予定者8名

奥村、南里、和田、川名夫妻、有倉、神山、戸丸

●交通 東京駅6時7分 中央特快高尾行

高尾7時5分着（乗り換え）7時6分発甲府行き

塩山8時12分着（予約バスに乗り換え）

塩山発8時30分 大弛峠尺9時55分

◎途中駅発 神田6:09 お茶の水6:12

四谷6:17 新宿6:22（12番線）立川6:48

8時30分発 大弛峠9時55分着

●コース 大弛峠から金峰山を往復します。

●費用 東京⇄塩山 往復約4000円

塩山⇄大弛峠 バス往復3600円
（タクシー利用時は一人7800円かかります）

1時過ぎに目的地の小平河原着。いつものように野草天ぷらと、うどんと蕎麦で大いに盛り上がる。持ち寄りの惣菜のメニューテーブル？もにぎやかだ。

3時35分出發。飯能河原の赤い橋を渡り、飯能駅に4時20分着。すぐに来た急行に乗って帰京。満腹で打ち上げは無しでした。

南アルプス **北岳** (3193m)・間ノ岳 (3189.3m)
◎スケジュール（一日の歩行時間を短く設定。）

●日程 7月28日（土）⇄31日（火） 3泊4日

7月28日（土）

新宿発9時2分 ホリデー快速ビューやまなし号

甲府 11時15分着（広河原行きバス乗換）

甲府 12時5分発 広河原13時58分着

付近を散策し広河原山荘（泊）（テント泊可）

7月29日（日） 歩行5時間半

広河原⇄北岳肩ノ小屋（泊）（テント泊可）

7月30日（月） 歩行4時間45分

北岳⇄間ノ岳⇄北岳山荘（泊）（テント泊可）

7月31日（火） 歩行4時間10分

北岳山荘⇄広河原⇄帰京

●宿泊代 広河原山荘2食・弁当付き8800円

（テント泊2食・弁当付き4100円）

肩ノ小屋 2食・弁当付き9500円

（テント泊2食・弁当付き4700円）

北岳山荘 2食・弁当付き9700円

（テント泊2食・弁当付き4700円）

●交通費 行き 新宿⇄甲府2268円

甲府⇄広河原バス1950円

帰り 広河原⇄甲府バス1950円

甲府⇄新宿特急4323円

費用 小屋泊38491円 テント泊23991円

